

千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1
公益社団法人千葉県園芸協会
連絡先 043(223)3005
発行日 毎月1日
令和7年9月号

「日本一の千葉の梨」プロモーション

千葉県農林水産部販売輸出戦略課
ブランディング推進室 副主査 飯生 智久

県では、令和5年度から、県内外の消費者に向けて県産農林水産物の魅力を発信するため、「日本なし」を「千葉県の顔」となる品目として位置づけ、集中的なプロモーションに取り組んでいます。本寄稿では、令和7年度の実施について紹介します。

今年度の取組

(1) 初競りのPR・知事トップセールス「千葉なし出陣式」

県産日本なしの季節到来を、メディアを通じて多くの消費者に伝えるため、東京都中央卸売市場大田市場において、主要産地の生産者代表等とともに県産「幸水」の初競りに向けたPRと「千葉なし出陣式」を実施しました。出陣式は、熊谷知事による梨のトップセールスとして初めての実施となりました。

本取組は、NHKをはじめとする様々なメディアで取り上げられ、県内外の方々に「日本一の千葉の梨」の季節到来をPRすることができました。



初競りの様子

(2) 千葉なし販売会とプレゼントキャンペーン

「日本一の千葉の梨」の魅力を帰省客など幅広い方々に伝えるため、日本最大のターミナル駅である東京駅のグランスタ八重洲イベントスペースにて、昨年引き続き、お盆前の連休初日の8月9日（土）に、「千葉なし販売会」を実施しました。1kg 詰め、2kg 詰めの贈答箱を約 150 セット用意し、16 時にはほぼ売り切れ、大盛況に終わりました。



東京駅での販売会

また、昨年度に引き続き、第一弾は8月4日～8月18日に、第二弾は8月25日～9月8日に、旬の県産梨2kg が当たるプレゼントキャンペーンを実施しています。「千葉自賛」のHPから応募できます。

【千葉自賛HP】 <https://nashi.chibajisan.jp/>

(3) 「千葉の梨」ブランドデザインの公募

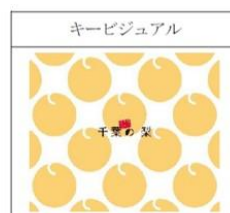
「千葉県の顔」となる品目として、「梨といえば千葉県」というイメージをより多くの人に知ってもらうため、「日本なし」の一体的なPRに向けてブランドデザインを募集しています。

採用されたデザインは、贈答箱をはじめ各種販促物に幅広く活用する予定です。

特設サイトにて、8月27日から10月15日まで募集していますので、たくさんのご応募をお待ちしています。

【「『千葉の梨』ブランドデザイン募集」サイト】

<https://koubo.jp/lp/chiba-nashi>



贈答箱	短冊	販売会

ブランドデザイン（例）



土壌診断で施肥コストの最適化を

全国農業協同組合連合会千葉県本部 営農園芸部
営農支援課 営農技術センター 森下 立基

円安や原油価格高騰等を背景に肥料価格は依然として高止まりしております。土壌診断により、ほ場の養分状態を把握し、施肥コストの最適化をはかりましょう。

1. 土壌診断のメリット

土壌診断とは土の健康診断であり、土の目に見えない化学性を数字で把握することができます。

例えば「新しく作付けする畑」や「人から借りた畑」などでは土壌診断により畑の状態を把握することはとても有益です。また、昨今、肥料価格が高騰する中で堆肥の施用が注目を集めていますが、「堆肥を施用したが減肥を行わない」等の管理を行ったほ場では養分バランスが崩れる可能性があります。

そのため、土壌診断により肥料成分含有量を数字で把握し、ほ場にあった適切な施肥を行うことは品質向上や施肥コストを見直すことにも繋がります。

2. 土壌診断結果にもとづく施肥量の削減

肥料は全てが農作物に吸収されるわけではなく、降雨により流亡したり、吸収されずに土壌中に残ります。

図1はJA全農ちばが分析を行った令和6年度ネギの土壌分析値の傾向を示したグラフです。特に砂質のほ場では土壌pHが上がりやすいため、約50%のほ場でpHが基準値よりも高い傾向にありました。また、約35%のほ場で可給態りん酸が基準値よりも過剰な傾向にありました。

土壌pHは養分の可溶化・不溶化に関係し、養分の吸収に影響を与えます。定期的に土壌分析を行い、pHが基準内に収まるように石灰資材の施用量を調整することが大切です。また、リン酸は過剰症が出づらいつい養分とは言われておりますが、土壌中に過剰に残存している場合は施肥コスト削減のために減肥を検討することができます。

3. 土壌診断は土の健康診断

土壌診断は土の健康診断です。定期的に実施し、ほ場状態を把握することにより、施肥コスト見直しをはかりましょう。

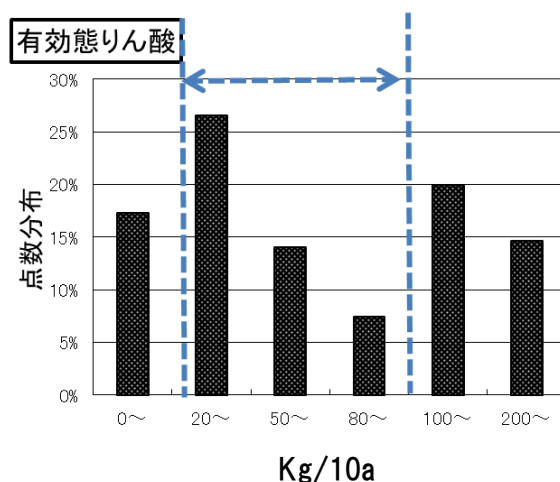
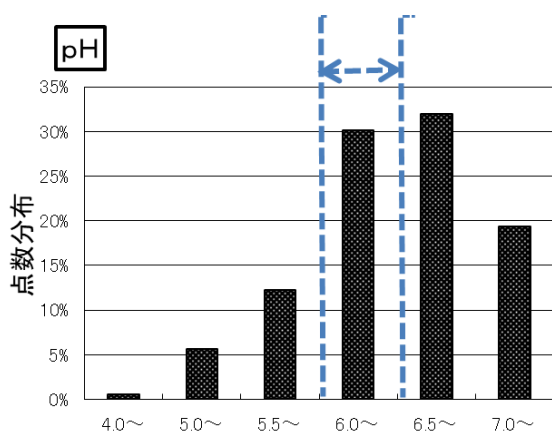


図1. 令和6年度千葉県ネギの土壌分析値の傾向について
(左図. 土壌pH、右図. 可給態リン酸)

千葉県内トマトのpH、可給態リン酸の分析傾向。矢印の範囲が基準値を表しています。



台風等の被害により樹勢が低下したビワの樹勢回復技術

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所
特産果樹研究室 研究員 中後 貴寛

台風等の被害により樹勢が低下したビワの樹勢回復には、開花前に花房を取り除く摘房を多く行って着果負担を軽減することや、11月から翌年6月下旬にかけて株元への黒マルチ被覆を行うことが有効です。

1. はじめに

千葉県のビワは南房総地域を中心に栽培され、生産量は全国2位（令和6年度）の特産品です。令和元年房総半島台風では、強風や潮風害により、産地全域で倒木や枝折れ、落葉などの被害が多発し、その後数年間、樹勢が著しく低下し、収量・生産量が減少しました。そのため、現地からは早急に樹勢を回復させる技術が求められていました。

そこで、着果負担の軽減や株元への黒マルチの被覆処理が樹勢回復に及ぼす影響を調査しました。

2. 着果負担の軽減

着果負担の軽減試験では、台風の被害を受けた南房総市の現地ほ場において、樹勢が低下したビワ7樹を供試しました。着果による樹体への負担を軽減するため、開花前に花房を取り除く摘房により、花房着生枝率（花房を着生させる枝の割合）を0～70%に調整したところ、花房着生枝率が低いほど翌年9月時点の新葉数や翌々年4月時点の葉着生枝率（葉が1枚でも着生している枝の割合）が高くなる傾向がみられました。これは、樹体の養分の消耗が軽減され、樹勢回復につながったためと考えられます。

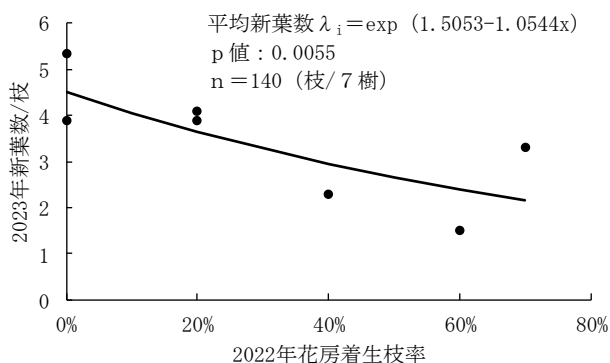


図1 花房着生枝率の違いがビワの翌年9月時点の新葉数に及ぼす影響

注1) 1樹当たり20枝の平均値を示した

2) 花房着生枝率は花房数/1年生枝数×100で算出

3. マルチ被覆

黒マルチの被覆試験では、台風の被害を受けた南房総市の現地2ほ場において、樹勢が低下したビワ8樹を供試しました。4樹には11月～収穫期後の6月下旬にかけて、黒マルチを株元2m四方に被覆し、他の4樹は雑草草生栽培（無被覆）としました。その結果、黒マルチを被覆した樹の方が、被覆していない樹よりも収穫期以降の葉数が増加しました。これは、黒マルチ被覆による地温の上昇や雑草の抑制等が要因と考えられます。また、葉数が増加することで、光合成産物も増加し、継続的な樹勢回復が期待できると考えられました。

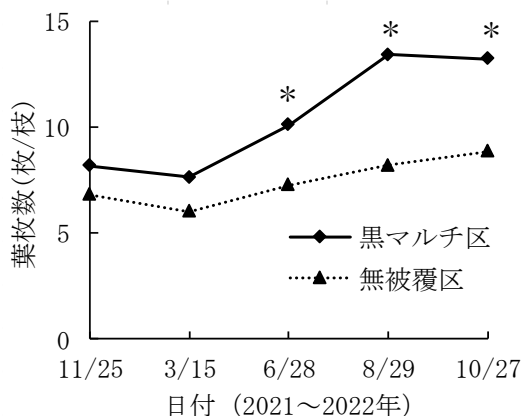


図2 株元に黒マルチを被覆したビワの葉枚数

注1) 1区1樹4反復の平均値を示した

2) 図中の*は尤度比検定により5%水準で有意差あり

4. まとめ

これらの結果から、摘房による着果負担の軽減や、秋冬期～収穫期後までの黒マルチ被覆によって、被害樹の樹勢回復が可能ながことが明らかとなりました。被災後の早期復旧を目指す産地にとって有効な技術と考えられます。これらの技術については、千葉県公式セミナーチャンネルで「【果樹部門（常緑果樹）】千葉県農林総合研究センター第62回試験研究成果発表会」として令和8年1月5日まで公開していますので、併せて御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=E6ZtEDuQB78&t=0s>





どこを優先？ 台風時のネギ倒伏対策

千葉県農林総合研究センター 水稻・畑地園芸研究所
東総野菜研究室 研究員 大川 佳織

ネギは台風等で倒伏すると、土寄せ作業ができずに収穫期が遅れ、収穫物の曲がりも発生します。倒伏の対策となる台風前の土寄せは限られた時間でどこを優先すべきか、また、倒伏した場合のネギ直しはどこから手を付けるべきか、それぞれの判断のポイントを紹介します。

1. はじめに

本県の主要作型である秋冬どりネギでは、生育期間が台風シーズンに重なります。強風によって倒伏すると、土寄せ作業ができないことによる収穫遅延、さらに収穫物の曲がりも問題となります。対策として、台風前の土寄せによる倒伏軽減、倒伏後に起こすネギ直しがありますが、台風前後の限られた時間で全てのほ場で対策を実施することは現実的ではありません。そこで、それぞれの対策について優先するほ場を判断するポイントを紹介します。

2. 台風前後の対策優先判断のポイント

台風前後の作業を優先すべきなのは、倒伏後にネギの回復（起き上がり）が遅いほ場です。倒伏後の土寄せ作業の遅れや、ネギ直しが必要になり被害が大きくなりやすいためです。では、どのようなほ場で回復が遅くなるのでしょうか。

まず①早生品種を栽培しているほ場（表1）や、②年内どり等で生育が進んでいるほ場（写真1）です。これらほ場のネギは、地上部が重いため、風で倒れやすく、また起き上がりにくくなります。

次に③倒伏角度が大きくなりやすいほ場です。倒伏角度が大きい程、起き上がるまでに日数を要します（写真2）。特に土寄せが遅れているほ場は、土の壁による制限が効かずに倒伏角度が大きくなるため、優先して対策します。

表1 強風後の倒伏程度

供試品種	倒伏程度	倒伏大 ↑ ↓ 倒伏小
夏扇4号	2.7	
夏扇パワー	2.3	
夏の宝山	1.7	
関羽一本太	1.7	
龍ひかり2号	1.7	
龍のぼり	1.7	
清輝	1.0	
羽生一本太	0.0	
TNE-768	0.3	
冬扇シオン	0.0	
夏扇タフナー	1.0	

注1) 強風後の倒伏程度を示した
2) 倒伏程度は0～3で評価
0：倒伏なし 1：少し傾いた程度
2：大きく傾く 3：畝の肩に葉がつく

以上のように①早生品種、②年内どり栽培、③倒伏角度が大きくなりやすいほ場では、台風前後の対策の優先度が高くなります。



写真2 倒伏角度による回復の早晚

注1) 9/16に人為的に倒伏させて（○で囲った部分）7日後の回復の様子を示した
2) 品種「龍ひかり2号」

3. ネギ直しは収穫物の曲がりを減らすか？

「ネギ直して収穫物の曲がりは減るのか？」「台風後すぐにやるべきか、少し起きるのを待つべきか？」とよく聞かれます。試験の結果、ネギ直しの実施時期の違いや有無によって、収穫物の曲がり発生程度はそれほど変わらないことが明らかとなりました（写真3）。ネギ直しの意義は、曲がりを減らすのではなく、早期に土寄せ作業を可能にし、収穫遅延を回避することであると考えられました。

ネギ直しは作業負担が大きいため、限られた面積でしか実施できません。上記の①～③のなかでも、耐寒性が劣る品種や春の抽台が早い品種で収穫を遅らせることができないほ場の優先を考慮します。ただし、優先度が高いほ場でも倒伏程度が大きい場合は曲がりが多く発生するため、被害状況によっては、ほかのほ場を優先するといった判断も必要です。

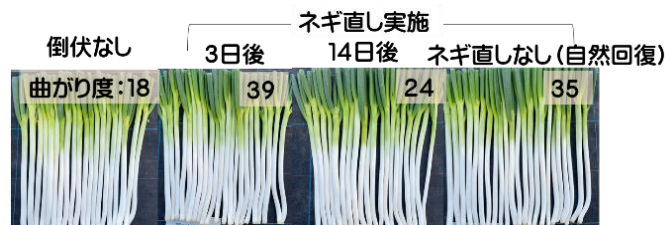


写真3 収穫物の曲がりの様子

注1) 10/13に人為的に倒伏させた後、ネギ直しを行うタイミングを変えた
2) 翌年1月16日畝長50cmを収穫し、収穫物の曲がり程度を評価し、曲がり度（数字が大きいほど曲がり大きい）を算出した
3) 品種「龍ひかり2号」4/15播種-6/1定植

年内どり想定(3/27播種5/16定植) 年明けどり想定(5/1播種6/19定植)
倒伏時株重135g 倒伏時株重116g



写真1 生育による倒伏後の回復の早晚

注1) 10/10に人為的に倒伏させて（○で囲った部分）14日後の回復の様子を示した
2) 品種「夏扇4号」

以上の内容を解説している動画を千葉県セミナーチャンネルで令和8年1月5日まで公開しています。是非御覧ください。

YouTube
「千葉県公式セミナーチャンネル」



地域資源活用・地域連携サポートセンターについて

千葉県農林水産部農地・農村振興課

農山漁村発イノベーション班 技師 齋藤 拓巳

県では、農林漁業者の所得向上に資する重要な取組の1つとして、農林水産物の付加価値を高める6次産業化の推進に取り組んできました。国では、6次産業化のさらなる推進のため、農山漁村が有する地域資源を発掘し、磨き上げた上で、地域内外の幅広い関係者との連携により、新たな価値を創出する「農山漁村発イノベーション」とし、今年度からは「地域資源活用価値創出」という名称に変更になっております。

併せて、6次産業化の取組を推進するための支援機関として県で設置している6次産業化サポートセンターについても、今年度から「地域資源活用・地域連携サポートセンター（6次産業化サポートセンター）」に名称変更しました。

名称は変わりましたが、「地域資源活用価値創出」の一環として、これまでと同様に経営改善戦略策定の支援や、専門家派遣など、6次産業化の支援を引き続き行っていますので、6次産業化の取組を御希望の場合には、まずはサポートセンターに御相談ください。

また、6次産業化に取り組もうとする農林漁業者向けの人材育成研修会や、農林漁業者と異業種による交流会も開催予定となっておりますので、これらへの参加もお待ちしています。



【問合せ先】

（受託事業者）（公社）千葉県園芸協会産地振興部

電話 043-223-3008

（県担当課）千葉県農林水産部農地・農村振興課

電話 043-223-2963

野菜ニュース

千葉県いちご組合連合会通常総会・いちご研修会を開催しました。

公益社団法人千葉県園芸協会

産地振興部 主任主事 石井 陸登

千葉県のいちご生産は、観光・直売、市場出荷と様々な形態があるのが特徴で、令和5年産出額は75億円で全国第9位です。県内のいちご生産者で構成される千葉県いちご組合連合会（以下「いちご連」）は、販売促進活動や、生産者間の情報交換などの活動を行い、いちご栽培の振興を図っています。去る7月17日に山武市成東文化会館のぎくプラザにて「いちご連通常総会」「いちご研修会」を開催しましたので、御報告します。

○千葉県いちご組合連合会通常総会

今年度総会では、生産技術研修会、YouTube研修会等が昨年度の事業実績として報告され、また今年度の事業計画では、原種苗配布等の生産対策のほか、県外研修会等の研修事業、販売促進活動に取り組むことが決定されました。

○いちご研修会

いちご連通常総会同日午後より、「令和7年度いちご研修会」が開催され、講演会開始前に、ホール前のホワイエにて、いちご栽培関係資材の展示会を行いました。

研修では、松戸市でいちご農園を経営しているKen's gardenの金子健太様より、現在取り組まれている「農福連携」について御講演いただきました。また、千葉県農林総合研究センター野菜研究室・庄山研究員からは、気温上昇と向き合ういちごの栽培管理について御講演いただきました。いずれも多くの方に御参加いただき、有意義な研修会となりました。



総会の様子



資材展示会の様子

催物結果



“千葉なし味自慢コンテスト”開催結果

千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

8月6日(水)～8月7日(木)に習志野市のイオンモール津田沼において「千葉なし味自慢コンテスト」を開催しました。今回は、県内の18団体から「幸水」111点の出品がありました。

1日目の専門家による厳正な審査により、上位3賞が決定されました。

コンテストに出品された選りすぐりの梨は2日目に即売され、糖度も高く品質の良い「幸水」の美味しさを消費者の皆様にご存知いただく機会となりました。

賞	名	所 属 組 合 名	氏 名
農 林 水 産 大 臣 賞		白井市梨業組合	湯浅 貴学
千 葉 県 知 事 賞		白井市梨業組合	白井中央梨選果場組合 B
農林水産省農産局長賞		鎌ヶ谷市梨業組合	皆川 伸司

一日目 審査の様子



二日目 開会式



催物案内



農業用ドローン操作研修会研修生募集

千葉県立農業大学校 機械化研修科

千葉県立農業大学校では、農業用ドローンの導入を検討している農業者を対象に、農業用ドローン操作研修会を開催します。農業用ドローンは、農作物栽培において農薬等を省力的に散布できることから、近年導入をする農業者が増えています。この研修会では、農業用ドローンを導入するにあたり、航空法等の関係法令、資格や講習受講などの準備、農薬等散布前の届出、散布時の注意事項、散布後の機体のアフターケア等の解説をします。また、シミュレーターによる操作体験、実機の展示及びデモ飛行も行います。

日 時： 令和7年12月16日(火) 9:00～16:00

場 所： 千葉県立農業大学校 機械化研修科 千葉市緑区大膳野町 1055

定 員： 20名(先着順)

受 講 料： 無料

申込方法： 1. 希望日、 2. 氏名、 3. 郵便番号・住所、 4. 電話番号 以上4項目を記入の上
令和7年10月1日(水)～10月17日(金)(当日消印有効)の期間に郵送、FAX 及びメールで下記へ
申し込んでください。

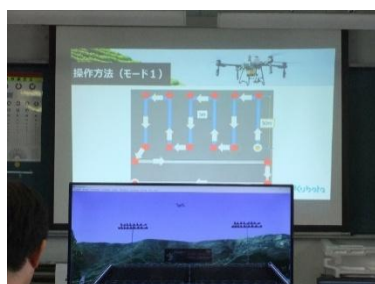


写真 令和6年度研修会の様子

申込先： 千葉県立農業大学校機械化研修科
(担当 大内)

(送付先)

〒266-0006 千葉市緑区大膳野町 1055

電話：043-291-1254 FAX：043-292-3859

メールアドレス：

kikaikenshu@mz.pref.chiba.lg.jp